

平成 20 年 9 月

関係各位

財団法人 資源・環境観測解析センター
独立行政法人 産業技術総合研究所

2008 年国際航空宇宙展（ジャパンエアロスペース 2008 / JA2008）
ワークショップ
「宇宙から地球を観る：真に役に立つ地球観測をめざして
Earth observation from space - as a useful tool for our life - 」
開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、我が国における地球観測リモートセンシングは、資源・環境等を中心に実用研究の実績を積み重ねてまいりました。経済産業省が開発いたしました ASTER、PALSAR データの普及とともに地球観測への期待が高まる一方、一層の実用性と効果のある研究開発が求められております。

こうした状況の下、これからの地球観測への期待と展望を概観するため、地球観測関連各分野の第一線の研究者によるワークショップを開催いたします。

ご多用の折とは存じますが是非とも多数のご参加を頂きますようご案内申し上げます。

敬具

記

1. 日時：平成 20 年 10 月 3 日（金）
2. 会場：パシフィコ横浜 アネックスホール F201（別紙地図参照）
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1
TEL 045-221-2166（交通案内） 045-221-2155（総合案内）
3. 主催：(財)資源・環境観測解析センター（ERSDAC）、(独)産業技術総合研究所（AIST）
4. プログラム：(別紙参照)
5. 入場は無料です。どなたでもご参加いただけますが、整理の都合上、添付の参加申込書を FAX にてご返送ください（お名前・ご所属をご記載下さい）。

*パシフィコ横浜展示ホールにてブース展示も行っております。同時にご見学ください。

ERSDAC：ブース番号 7H-05、AIST：ブース番号 7H-02

2008年国際航空宇宙展(ジャパンエアロスペース2008/JA2008)
ワークショップ
「宇宙から地球を観る:真に役に立つ地球観測をめざして」
Earth observation from space - as a useful tool for our life - 」

プログラム(予定)

- 13:30 - 13:35 開会宣言 津 宏治 (財)資源・環境観測解析センター(ERSDAC)
- 13:35 - 13:55 基調講演 利用される地球観測の推進を目指して - 国際惑星地球年(IYPE)と連動した活動
Promotion of global earth observation for users - some activities during the UN year of International Year of Planet Earth (IYPE) 佃 栄吉 (独)産業技術総合研究所(AIST)
- 13:55 - 14:15 基調講演 航空宇宙技術の役割 - インドネシア天然資源問題の解決に向けて
What is the role of aerospace technology in solving natural resources problems in Indonesia?
Dr. Yusuf S. Djajadihardja
インドネシア科学技術評価庁(BPPT) P-TISDA
- 14:15 - 14:40 衛星からの環境モニタリング ~何が出来る?何が出来ない?何が将来必要?~
Environmental monitoring from satellites - What can we do? What cannot we do? and what will we need? -
松永 恒雄 (独)国立環境研究所(NIES)
- 14:40 - 15:05 GEO Gridによる地球観測衛星情報の利活用促進
GEO Grid - IT platform for integrating earth monitoring satellite data
関口 智嗣 (独)産業技術総合研究所(AIST)
- 15:05 - 15:30 次世代を拓く地球観測センサ Next generation earth observation sensor
岩崎 晃 東京大学 (Univ. Tokyo)
- 15:30 - 15:55 先進的宇宙システム:新たなアーキテクチャによる小型観測衛星
Advanced space systems with new architecture on an observation satellite
金井 宏 (財)無人宇宙実験システム研究開発機構(USEF)
- 15:55 - 16:20 PALSAR からの災害監視 Disaster monitoring by ALOS/PALSAR imagery
松岡 昌志 (独)産業技術総合研究所(AIST)
- 16:20 - 16:30 質疑応答~閉会宣言 津 宏治 (財)資源・環境観測解析センター(ERSDAC)

2008 年国際航空宇宙展 (ジャパンエアロスペース 2 0 0 8 / JA2008)

ワークショップ

「宇宙から地球を観る：真に役に立つ地球観測をめざして

Earth observation from space - as a useful tool for our life - 」

参加申込書

FAX 番号 03-3533-9383

宛名 (財)資源・環境観測解析センター -

企画調査部行

会社・団体名	
ご所属	
ご氏名	役職
ご連絡先 TEL No.	
FAX No.	